

10月定例活動「第5回どんぐり祭り」

10月25日(日) 秋晴れの好天に恵まれ暑いぐらいの陽気のなか、恒例となった「どんぐり祭り」の5回目が盛況に繰り広げられた。

今回は、家族連れなど一般の参加者のほかに、助成を頂いたりコーの社員方やボーイスカウトの最年少クラス「ビーバースカウト」の子どもたちも参加して、非常に賑やかななか、前回ダントツの好評を得た、ツリーハガーズによる木登り体験や、竹の昆虫作りなど多彩なプログラムを存分に楽しんだ。



↑今年もやはり一番人気を得た木登り体験。子どもたちの長蛇の列が並んだ。



↑竹の昆虫作りも大人気！指導にあたった大館氏に休む間が与えられることはなかった。



←5年目を迎えたどんぐり御輿もご覧の通り健在。



→空のひととき、汗はやっぱり最高！豚秋



←今回、初披露となった焼き印は、ペンダントや札にして大好評！

～参加者のコメント①～

天白区で活動しているボーイスカウトビーバー隊（幼児年中9月から小学校2年8月までの子供）です。

毎年プログラム作りに一苦労！できるだけ自然の中で遊ばせてやりたいという希望から今回、どんぐり祭りに参加させていただきました。

プログラムを見ると楽しいことばかり！ビーバー隊員10人を連れていざ出発～。まずは木登りから。はじめは小さな木を登ると思いきや、なんとロープを使った本格的な木登りではないか。こんな小さな子が登れるか心配したが、木登りの隊長と隊員さんにやさしく、ていねいに指導していただき、少し緊張した表情ではあったが、無事登ることができました。上の眺めが気に入って、なかなか降りてこない子もいました。お昼には温かい豚汁をいただき、午後からは竹の昆虫作り、丸太切りなどいろいろ体験。

自然観察にも行きかけたのですが、時間切れ！また次回の楽しみにしてオアシスの森を後にしました。

楽しい1日でした。ありがとうございました。やっぱり、子供は自然が一番！！
(ボーイスカウト名古屋第58団ビーバー隊々長 渡辺茂人)



↑年々腕に磨きがかかる蛭川さんのオカリナ。しみりとした音が森に響き渡った。



←柴刈り大会で成材づくりに精を出す参加者



→柴刈り後、すっかり明るくなった竹林

～参加者のコメント②～

ボランティア参加は初めての経験で、竹伐り作業に参加をしました。日頃馴染みのある竹ですが、知識については全くの素人で、竹のことや枝の裁き方などの説明を聞いて大変勉強にもなりましたし、より身近なものになったような感じがいたします。

竹を伐るのは思ったより簡単でしたが、後の作業が結構大変で、1時間ほどの作業でしたが、慣れない事でしたのでちょっと疲れしました。

心地よい汗の後は美味しい豚汁をいただき、仲間との会話はみずみずしい秋の1日となりました。

相生山の名前は知っていましたが、山に入るのは勿論初めてで名古屋市内にもこんな自然があるのだと、改めて感じました。今回私が体験したのは相生山の中のほんの一部ですが、まだまだ相生山には自然がいっぱいありますし、後々までこの自然を守っていく義務が我々にはあるのだと感じました。又メイン会場には多くの市民の方や子供達が参加されていて大変すばらしい事だと感じました。貴重な体験をさせていただきましたが、また機会があればこのような活動に参加してみたいと思います。
(愛知リコー社員)

「元祖！柴刈り大会」も盛り上がったぞ～！

オアシスの森くらすの活動の基本といえど何といても里山の手入れ。どんぐり祭りでも毎年「元祖！柴刈り大会」を催しています。でも最近この柴刈り大会への参加者が少なく、少し心配をしていたところ、今年はリコー中部（株）の「グリーンプロモーション2003」の助成を頂き、リコー社員の皆さんの参加によって、にわかには活気づいてきました。この日もなんと41名の方が参加され、山根口の竹林管理作業に汗を流していただきました。大勢での作業でみるみる竹林が明るくなっていく様子を見ながら、改めて人の力は偉大だと感じさせられました。